

名鉄病院 CKD 病診連携紹介状（診療情報提供書）のご紹介

慢性腎臓病（CKD）は末期腎不全に至るリスク因子で患者数は増加しています。日本人では成人人口の約 13%が CKD 患者とされています。

CKD 発症の背景因子としては様々な原因があり、慢性腎炎症候群のほか、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病が挙げられます。無症状のうちに腎機能が低下することが多く、透析移行や心血管疾患の予防のためにも、早期診断、早期治療介入が重要です。

この度、名鉄病院腎臓内科では、診療所の先生方と腎臓専門医が連携することで、早期に正確な診断に基づく最適の治療を提供する事とし、透析療法・腎移植に至らないことを目的としております。

当院腎臓内科では慢性腎臓病対策を考えるうえで、CKD 病診連携紹介状（診療情報提供書）のご記載をお願いしております。

つきましては、ご負担をお掛け致しますが、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

この診療情報提供書は、腎疾患が疑われる患者を早期に腎臓内科専門医に受診、治療方針を策定することにより、慢性腎臓病の進行抑制と人工透析導入者数の減少を目的としております。

対象患者（下記の条件に合致した患者）

- ①40 歳未満で、eGFR が 60 未満の者
- ②40～69 歳で、eGFR が 50 未満の者
- ③70 歳以上で、eGFR が 40 未満の者
- ④過去 3 ヶ月以内に 30%以上 eGFR の低下した者
- ⑤尿蛋白が 2+以上の者
- ⑥尿蛋白/尿クレアチニン比が 0.5g/Cr 以上の者
- ⑦尿蛋白と血尿がともに 1+以上の者
- ⑧糖尿病があり、尿蛋白が陽性の者

ご紹介いただいた患者については専門医が精査の上、今後の治療方針につきご報告・ご提案申し上げます。

腎疾患患者のより良い生活のため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。